

## 別表 J-4 データ及び資料一覧表（平成 29 年度）

地震研究所の「公開データベース」<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/publication/>もご参照ください。

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件, データ及び資料に関する URL 等	申請 期限
2017-D-01 WWSSN 地震記象マイクロ フィルム/フィッシュ	○古地震・古津波記録委 員会 (佐竹健治)	要予約. 用紙等については予約時に問い合わせ て欲しい. <a href="http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/wwssn/filmli&lt;br/&gt;st.html">http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/wwssn/filmli st.html</a>	随時
2017-D-02 歴史地震記象	○古地震・古津波記録委 員会 (佐竹健治)	原則としてマイクロフィルムを利用. 原記録は 職員立ち合いのもとで利用すること. <a href="http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/susu/">http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/susu/</a>	随時
2017-D-03 旧測候所報告・古新聞切抜 き・国際地震観測報告等	○古地震・古津波記録委 員会 (佐竹健治)	資料室でコピー可. 旧測候所報告: <a href="http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-J/inde&lt;br/&gt;x.html">http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-J/inde x.html</a> 国際地震観測報告: <a href="http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-W/ind&lt;br/&gt;ex.html">http://wwweic.eri.u-tokyo.ac.jp/record-W/ind ex.html</a>	随時
2017-D-04 観測開発基盤センター地震 データ	○観測開発基盤センタ ー長	大学間の取り決めに基づいて利用すること. 詳 しくは担当教員に問い合わせること. <a href="http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/harvest/">http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/harvest/</a>	随時
2017-D-05 衛星通信等を用いた全国地 震観測システムデータ受信 利用	○観測開発基盤センタ ー長	「衛星通信地震観測システムデータ受信利用規 定」に基づいて申請すること. (様式 S-1) <a href="http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyo&lt;br/&gt;u/data_jushin_riyou.htm">http://eoc.eri.u-tokyo.ac.jp/eisei_system/riyo u/data_jushin_riyou.htm</a>	随時
2017-D-06 国立大学微小地震観測網カ タログ(JUNEC)	○地震火山情報センタ ー長	震源データは anonymous FTP で利用可. <a href="ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junec/">ftp://ftp.eri.u-tokyo.ac.jp/pub/data/junec/</a> 検測データは大学間の取り決めに基づいて CD にて提供可. (ただし, 担当教員に利用申 請を提出のこと). 論文・報告書等には利用し た旨を明記すること.	随時
2017-D-07 浅間, 伊豆大島, 霧島, 富 士の火山データ	○火山噴火予知研究セ ンター長	事前に担当教員と打ち合わせるのこと.	随時
2017-D-08 広帯域地震波形データ(1)	○海半球研究観測セン ター長	特になし. <a href="http://ohpdmc.eri.u-tokyo.ac.jp/dataset/per&lt;br/&gt;manent/seismological/index.html">http://ohpdmc.eri.u-tokyo.ac.jp/dataset/per manent/seismological/index.html</a>	随時
2017-D-09 広帯域地震波形データ(2)	○鷹野澄	筑波, 白木等の広帯域地震計のための ERIOS システムで収録された広帯域地震波形データ. 観測点ごとに収録期間が異なるので, 利用希望 の際は, 事前に担当者に相談すること. データ フォーマットは ERIOS フォーマット.	随時
2017-D-10 新 J-array 地震波形データ	○地震火山情報センタ ー長	ホームページから利用可. <a href="http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/">http://jarray.eri.u-tokyo.ac.jp/</a> 論文・報告書等には利用した旨を明記するこ と.	随時
2017-D-11 1993 年日光周辺域合同地 震観測データ	○観測開発基盤センタ ー長	1993 年合同観測参加者.	随時
2017-D-12 強震記録 (主として駿河湾, 伊豆半島観測網, 足柄観測 網のデータ)	○瀬織一起	論文, 報告書等に利用した旨を明記すること. 論文, 報告書等を送付すること. <a href="http://smsd.eri.u-tokyo.ac.jp/smad/">http://smsd.eri.u-tokyo.ac.jp/smad/</a>	随時

共同利用コード及び名称	担当教員(○責任者)	利用条件, データ及び資料に関する URL 等	申請期限
2017-D-13 歴史地震の古文書及びその 解説文	○佐竹健治	特になし. 「東京大学地震研究所図書室特別資料データ ベース ( <a href="http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/dl/meta_public/G0000002erilib">http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/dl/meta_public/G0000002erilib</a> )」のうち, コレクション名 02 (-1, 2, 3)の地 震史料のオリジナル(複写)と解説文	随時
2017-D-14 地球電磁気データベース	○上嶋誠, 歌田久司	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報 告書等に利用した旨を明記すること.	随時
2017-D-15 八ヶ岳地球電磁気観測所速 報データ	○小河勉	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報 告書等に利用した旨を明記すること.	随時
2017-D-16 地殻熱流量データセット	○山野誠	特になし. 日本列島を含む北西太平洋地域の地殻熱流量 データをまとめたものである. 対象範囲は北緯0~60度, 東経120~160度で, フィリピン海, 日本海, オホーツク海の全域を カバーしている. データファイルに含まれる項 目は, 測点名, 緯度・経度, 標高または水深, 温度測定点数と最大深度, 温度勾配, 熱伝導率 とその測定数, 熱流量, 及び文献とその出版年 である. 原則として, 公表されている測定値を そのまま収録しているが, 熱流量の値が0以下 のものは除いてある. 潜水船・ROV を用いて 測定した値, 及びガス・ハイドレートによる音 響反射面の深度から推定した値は含めていな い.	随時
2017-D-17 日本全国空中写真	○図書室	活断層調査や地震・火山・テクトニクスなどの 研究のためであること. 図書職員に申し出て利 用すること. <a href="http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/airphoto/shiryou_ushitu.htm">http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/airphoto/shiryou_ushitu.htm</a>	随時
2017-D-18 津波波形画像データ	○古地震・古津波記録委 員会(佐竹健治)	地震研の公開データベースの津波波形画像検 索システム <a href="http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/">http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/tsunamidb/</a> より申請して利用すること. 利用資格は地震研 究所共同利用に準ずる.	随時
2017-D-19 首都直下地震防災・減災特 別プロジェクトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること. <a href="http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/shuto/index.html">http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/shuto/index.html</a>	随時
2017-D-20 超伝導重力計観測データ	○今西祐一	事前に担当教員と打ち合わせること. 論文, 報 告書等に利用した旨を明記すること.	随時
2017-D-21 都市の脆弱性が引き起こす 激甚災害の軽減化プロジェ クトデータ	○平田直, 酒井慎一	事前に担当教員と打ち合わせること. <a href="http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/toshi/">http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/toshi/</a>	随時